

受 付 番 号	2025-34		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111426 号		
研究課題名	インプラント周囲炎の予防を目的とした歯科遠隔医療におけるデジタルデバイスを用いた 双方向型口腔衛生管理の有効性		
研究責任者	森永 健三	申 請 者	松山 文樹
研究終了日	2029 年 3 月 31 日		
所 属	口腔インプラント学講座	所 属	歯学研究科 (口腔インプラント学専攻)
職 名	准教授	職 名	大学院 1 年生

申請の概要

インプラント周囲炎は、インプラントの維持期に発生する最も発生率の高い合併症である。

インプラントを長期的に良好に維持するためには、日々の患者自身によるセルフケアが重要であるが、インプラント上部構造の複雑な構造に加えて、患者の高齢化に伴う手指運動機能の低下等が、セルフケアの質の維持を困難にしている。近年、超高齢化に伴う医療および介護現場の様々な問題への対策の一環として、歯科遠隔医療が注目されている。歯科遠隔医療の利点は、介護施設等に入所している、あるいは遠方に住んでいる、等の理由で歯科医院に通院できない患者に対してもコミュニケーションを取りながら医療を提供できることである。患者のセルフケアの質を維持するためには、適切な口腔清掃指導とその効果の評価を定期的に行う情報共有が必要である。その情報共有の有用なツールとして様々なデジタルデバイスが開発されている。本研究では、患者の理解度やモチベーションの向上を目的として、個々の患者にカスタマイズされたメンテナンス方法の動画を反復して閲覧可能なデジタルデバイスを用いた双方向型の口腔衛生管理を行い、本方法がセルフケアの質の向上、維持ならびにインプラント周囲炎の予防に対する有効性を評価する。